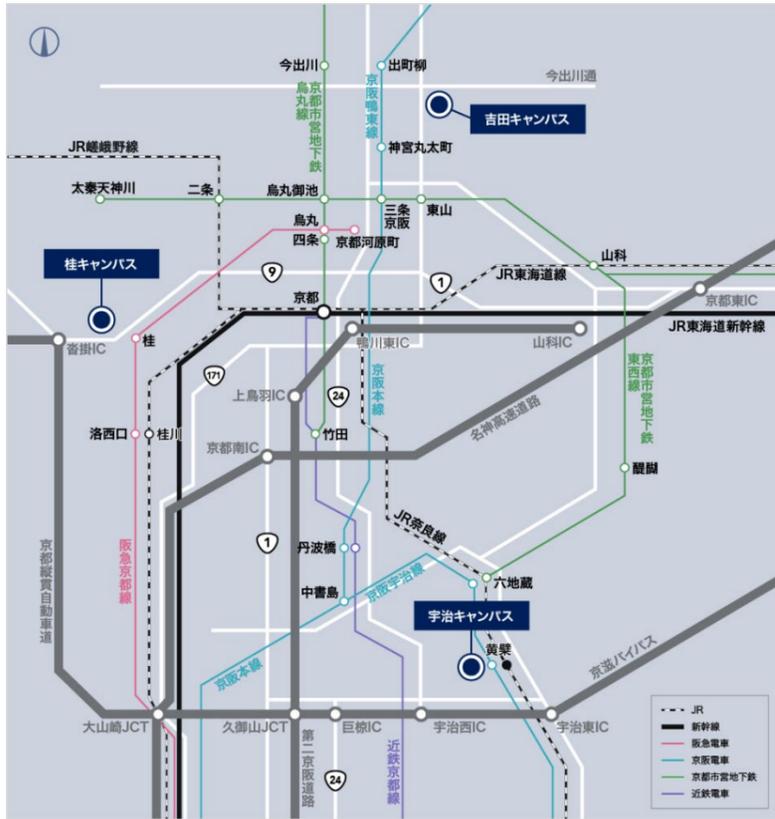


# 図書館・室 一覧



## 吉田キャンパス

**本部構内**  
 附属図書館【総合図書館】  
 文学研究科図書館  
 教育学部図書室  
 法学部図書室  
 経済学研究科・経済学部図書室  
 工学研究科・工学部北図書室  
 工学研究科・工学部南図書室  
 人文科学研究所図書室  
 エネルギー科学研究科図書室  
 情報学研究科図書室  
 地球環境学堂図書室  
 経済研究所図書室  
 アジア・アフリカ地域研究研究科アジア専攻図書室

## 北部構内

理学部中央図書室  
 理学研究科  
 数学教室図書室 / 物理学教室図書室  
 宇宙物理学教室図書室  
 地球惑星科学専攻図書室 / 化学図書室  
 生物科学図書室  
 農学部図書室  
 農・生物資源経済学専攻司書室  
 フィールド科学教育研究センター森林系図書室  
 人文情報学創新センター図書室  
 基礎物理学研究所図書室  
 数理解析研究所図書室

## 吉田南構内

吉田南総合図書館【エリア連携図書館】

## 医学部・薬学部・病院構内

医学図書館  
 医・人間健康科学系図書室(医学図書館分室)  
 薬学研究科・薬学部図書室  
 アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ専攻図書室  
 東南アジア地域研究研究所図書室

## 桂キャンパス

桂図書館【エリア連携図書館】

## 宇治キャンパス

附属図書館宇治分館

## その他のキャンパス

複合原子力科学研究所図書室  
 犬山キャンパス図書室  
 生態学研究センター図書室  
 フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所図書室

# もっと知るには



京都大学図書館機構  
 Webサイト  
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学図書館機構  
 統計  
[www.kulib.kyoto-u.ac.jp/about/1401282](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/about/1401282)



京都大学図書館機構  
 活動報告  
[www.kulib.kyoto-u.ac.jp/about/1400746](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/about/1400746)



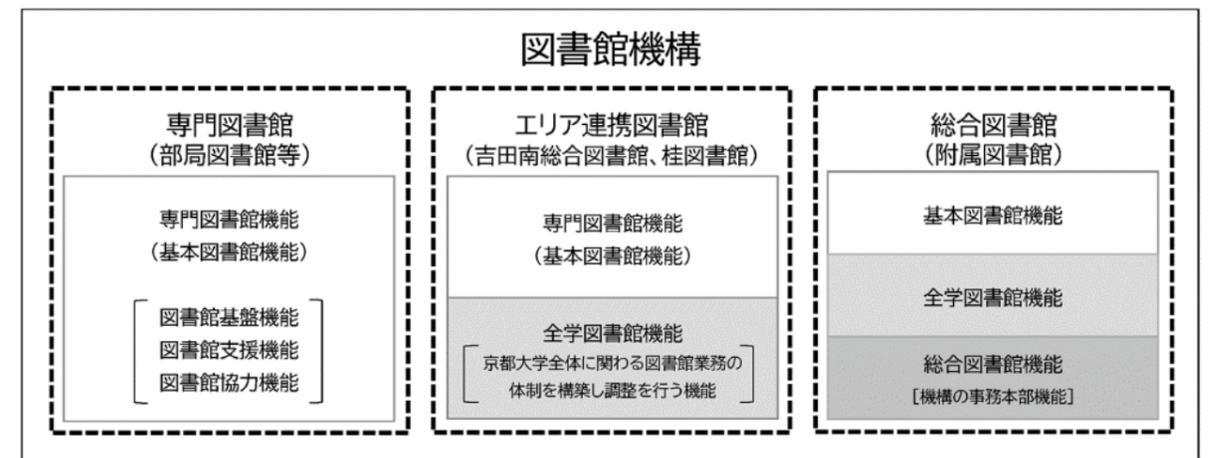
# 京都大学図書館機構 概要 Kyoto University Library Network



表紙写真 (上)附属図書館、(左)桂図書館、(右)吉田南総合図書館

## 機能と体制

図書館機構は、京都大学における学術研究基盤の整備、全学的事業の推進又は支援、その他全学に係る業務を実施するための全学機能組織です。総合図書館、エリア連携図書館、専門図書館の機能を持つ個々の図書館から構成され、これらの図書館がそれぞれ機能を高めながら、連携協力を強化することにより、図書館機構の機能が実現されます。



京都大学  
 KYOTO UNIVERSITY

編集・発行: 京都大学図書館機構, 2024年9月  
 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
 TEL 075-753-2691

# 基本理念と目標

京都大学図書館機構は、京都大学の基本理念に基づき、世界最高水準の教育・研究拠点に相応しい学術情報基盤としての役割を担うことを使命とする。将来にわたって、京都大学における教育・研究活動を支援し、かつ国内外の学術コミュニティに貢献するために、人類の知的資産である学術情報資源や新たに生み出される知的成果を不断に収集、整理、保存し、関連する情報を発信するとともに、常に最上質の先進的情報サービスを研究開発し、提供する。

そのため、京都大学図書館機構は以下の目標の実現をめざす。

1. 京都大学図書館機構は、全学の図書館機能を十全に発揮して教育・研究を支援するために、学生・教職員のニーズを把握し、それに応えることを最優先する。
2. 学術情報基盤としてのコレクションおよび情報サービス体制を構築するために、学術情報を適切に選定、収集、整理し、必要な研究開発を行い、それらへの最善のアクセスを提供する。
3. 京都大学が日々創造する世界的に卓越した知的成果の蓄積・発信を行う。
4. 京都大学が保有する人類の知的資産を将来にわたって利用できるような保存管理体制を整備する。
5. 学術情報活用のために質の高い利用者支援システムを構築する。
6. 図書館利用者が学術情報を有効かつ快適に活用できるように、全ての図書館スタッフのスキルおよびモチベーションの向上と、設備、施設の充実を図る。
7. 京都大学図書館機構を構成する組織は、相互に、また関連する学内組織との間の協力関係を強化する。
8. 国内外の図書館と連携し、相互協力するとともに、社会と地域に貢献する。

# 沿革

1897年	6月	京都帝国大学創立、附属図書館を設置
1984年	4月	閲覧システムを導入(業務のコンピュータ化を開始)
1985年	4月	調査研究室を設置(1996年研究開発室に改組)
1996年	6月	『今昔物語集(鈴鹿本)』、国宝に指定
2005年	4月	京都大学図書館機構を発足
2006年	6月	学術情報リポジトリを試験公開(10月から正式公開)
2009年	12月	「京都大学図書館機構将来構想」を策定
2014年	4月	附属図書館にラーニング・commonsを設置
2015年	4月	京都大学オープンアクセス方針を採択
2017年	5月	吉田南総合図書館をエリア連携図書館に指定
	9月	京都大学貴重資料デジタルアーカイブを試験公開(12月から正式公開)
2018年	2月	桂図書館をエリア連携図書館に指定(2020年4月開館)
2020年	2月	「京都大学図書館機構将来構想2020-2027」を策定
4-6月		「オープンアクセス推進事業(京都大学重点戦略アクションプラン)」が令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術賞科学技術振興部門)、令和2年度国立大学図書館協会協会賞を受賞
2024年	4月	情報環境機構データ運用支援基盤センターとの連携協力開始



# オープンアクセスの推進と研究活動支援

図書館機構では、京都大学学術情報リポジトリ KURENAIによる研究成果の公開と貴重資料等の一次資料のデジタルアーカイブ化を両輪として、京都大学におけるオープンアクセス推進基盤を構築してきました。

京都大学は2015年4月に「京都大学オープンアクセス方針」を採択し、教員が執筆した学術論文等の研究・教育成果をインターネット上で公開することを原則教員の義務としました。続いて2020年3月に「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」を策定し、京都大学の研究者が研究データを管理・保存・公開するための指針となる原則を示しました。2024年度からは図書館機構、情報環境機構、学術研究展開センター(KURA)で協働し、研究データ管理に関する研究者からの問い合わせに対するワンストップ窓口を運用するなど、研究者の研究のライフサイクルに沿った支援を行っています。

また、京都大学が所蔵する貴重な古典籍・古文書をはじめとする学術資料のデジタル化とインターネット上での公開に取り組んでいます。



<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/1388199>

# 学修・教育支援の推進

2023年9月に図書館機構YouTubeチャンネルを開設しました。

図書館講習会のDX推進の一環として、講習会動画等を広く公開し、学内図書館・室で連携してコンテンツを作成する体制を構築しています。

<https://www.youtube.com/@kulibrarynetwork>



# 主要コレクション

京都大学図書館機構では、国宝『今昔物語集(鈴鹿本)』(附属図書館所蔵)、重要文化財『大日本史編纂記録』(文学研究科所蔵)、『ジョサイア・コンドル建築図面』(桂図書館所蔵)をはじめ、多数の貴重書を所蔵しています。

電子化された貴重書は、京都大学貴重資料デジタルアーカイブでご覧いただけます。



『天正遣欧使節肖像画』(附属図書館所蔵)



『はちかつき』(吉田南総合図書館所蔵)部分



『Flora Japonica』(理学研究科所蔵)部分